

2012 都知事選

都民がつくる革新都政

2012年12月10日
発行 = 革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館 5F 電話 (5978) 4031
ホームページ: <http://kakushintosei.org/>
E-mail: info@kakushintosei.org
(1部25円、送料は別途)

宇都宮けんじ 勝利! へ



総選挙公示日、第一声で訴える宇都宮都知事候補

都知事選挙と総選挙を「一体に 歴史的なたたかひに総決起する」を訴えます

2012年12月4日 革新都政をつくる会 代表世話人会

「ベストの候補者と新しい選挙形態で広がる支持に確信」(革新都政をつくる中野の会ニューズ)

原都政を継承する猪瀬候補と全面対決し、追い上げはじめています。

みなさん

宇都宮けんじさんとともに石原都政13年半の悪政を転換させる！その決意とたたかひへの決起が立候補表明からきわめて短期間のあいだに大きく広がっています。

都知事選挙勝利をめざす全都のみなさんの昼夜をわかつた大奮闘、全国各地からのご支援に心より敬意と連帯を表します。

石原前知事が行き詰まって投げ出した都政を、人にやさしい都政へ転換させるために立候補した宇都宮けんじ候補は、幅広い都民の期待を受け、大奮闘しています。宇都宮けんじ候補の「都政で実現をめざす4つの柱」と「12の政策」「7つの解決」は、目を追うごとに広がり、「革新都政をつくる会」に結集しているみなさんの奮闘によって、都民に冷たい石

原都政を継承する猪瀬候補との対決を軸にして激しいたたかひになっています。

都知事選の状況は、「猪瀬氏を宇都宮氏が追う展開」(12月1日、東京新聞)であり、宇都宮けんじ候補と猪瀬候補との対決を軸にして激しいたたかひになっています。

原発に対する態度表明を意図的に避け、破たんした新銀行東京を継続し、子育て・福祉・高齢者・住宅など都民施策には冷たい都政を全面的に継承する猪瀬候補の正体が伝わったところでは、宇都宮けんじ候補に対する期待と支持が広がっています。

同時に、マスコミ報道は、総選挙一色であり、都知事選そのものが見えにくくなっています。革新都政をつくる会は、人にやさしい東京をつくる会と連携して告示直前に全都で展開

した300万ビラで宇都宮けんじの知名度と政策を攻勢的に上げるとともに、「宇都宮押し出し、候補者政策比較」を発行し、政連カーの運行、さらに「法定ビラ」を300万枚増刷して、各団体・地域の創意をいかした宣伝と対話を進めています。

しかし、現時点では、宇都宮けんじ候補への支持は、猪瀬陣営を凌駕する状況にはなっていません。これからのたたかひがきわめて重要です。

みなさん

4日の日本共産党の総選挙公示第1声(新宿西口)で宇都宮けんじ候補は、次のように訴えました。

「今回の都知事選の争点は二つ。13年半続いた石原都政を継承するのか、決別するのかわかす。人にやさしい都政を実現するうえで脱原

発、反消費税、反TPP、憲法擁護をとるべき政策が衆院選で躍進することが必要です。このような政策を持つ日本共産党の飛躍的前進を心より期待します。都知事選と衆院選は、日本のかたち、将来を決定するために重要な選挙です。日本社会を変えるために全力をあげ、たたかいます。」

総選挙が公示されてから16日の国政と都政の同時投票日までの12日間の短期決戦のたたかひは、これまでの延長戦ではない、かつて経験したことのない大政治戦となります。

総選挙突入後は、都政の転換を実現する都知事選と、「希望がもてる新しい政治」を切り開く国政選挙を一体とすすめることが強く求められています。

宇都宮けんじ候補の「人にやさしい東京」の実現には、国政の転換が不可欠です。

革新都政をつくる会代表世話人会は、首都東京とこの国のあり方、進路を左右する都知事選挙と総選挙の歴史的なたたかひを一体のものとしてたたかうために総決起することを心より呼びかけます。

宇都宮さんで人にやさしい東京が 冷たい石原都政の継承(猪瀬氏)か

なんとしても石原都政からの転換を、広範な都民の多くの人から推されて立候補した前日本弁護士連合会会長の宇都宮けんじ候補は、告示日の11月29日朝、有楽町マリオン前で第一声

聞き、政策を練る。それが本筋のリーダーシップと、石原前知事のトップダウンの手法を批判し、「皆さんが立ち上げれば都政を変えられます。皆さんと一緒にたたかいます」と訴えました。

を上げ、選挙戦がはじまりました。政党では、革新都政をつくる会の構成団体でもある日本共産党をはじめ、日本未来の党、社民党、生活者ネットなどが、宇都宮候補を支持しています。

政策では、「東京から脱原発を発信し、何としても原発のない社会をつくりたい。福島原発はもうろくに、柏崎刈羽原発も廃炉にする。都の豊かな財政を生活に還元し、誰もが人らしく生きられるまち」の実現、教育現場に自由をとりもどして子どもたちのための教育を再建すること、憲法を擁護し、東京から平和のメッセージを世界に発信することなど、「4つの柱」を軸に、「希望都市東京をめざす12の政策」と、「7つの緊急問題」の解決を訴えています。(2面に宇都宮候補の政策の詳細)

選挙戦は、石原都政の13年半を厳しく批判し、「東京から脱原発」「人にやさしい東京」を再建すること、憲法を擁護し、東京から平和のメッセージを世界に発信することなど、「4つの柱」を軸に、「希望都市東京をめざす12の政策」と、「7つの緊急問題」の解決を訴えています。

一方、石原都政の継承をめざす猪瀬候補は、日本維新の会の石原前知事や橋本大阪市長の応援を受け、「石原前知事のもとで都政改革を副知事として5年5月9日やってきました」と、福祉施策を冷たく切り捨てた「財政再建」を賛美し、基金をため込んだ「実績」を自画自賛しています。争点となっています。

「人にやさしい東京」をつくる宇都宮けんじさんの政策(要旨)

4つの柱を支える市民参加の都政
開かれた都政を実現して、市民参加をすすめます 生活再建型財政の予算編成 公共サービスを重視する都政に向けた組織改革、人権を保障する都庁改革 三多摩格差の是正
7つの緊急課題の解決にただちにとりくみます
①防災・直下型地震対策にとりくみます ②2020年オリンピック招致を見直します ③築地市場の豊洲移転を見直します ④1400億円をつぎ込んだ新銀行東京は清算します ⑤外環道については市民の声を聞いて、見直します ⑥尖閣諸島購入のために集めた寄付金は返還します ⑦TPPへの交渉参加に反対します



革新都政をつくる会発行の「都政パンフ」を広げましょう

猪瀬語録

「石原さんと僕のコンビは続いていく。国政は彼がやり、僕が都政をやる」

——石原都政を全面的に継承

- 「福島第一の廃炉が最大の目標」と脱原発の態度表明を意図的に避けている猪瀬氏。宇都宮さんから突っ込まれて「ただやみくもに推進、反対ではない。」結局、石原前知事と同じく原発推進。
《11月27日、東京青年会議所公開討論会》
- 「東京は土地が高く、保育園の基準が0歳児1人3.3㎡とか、園庭や階段が必要とか杓子定規にできない」と発言。認可保育園を建設せず、保育の低下を容認。7000人を超える待機児解消に展望を示せず。
《11月22日“特ダネ”》
- 「五輪にあわせて、お台場にカジノを誘致する考えを示した」
《都政新報11月27日付》
- 「学習院のようなちゃんとした学校でさえ、皇太子のお子様がいじめられるという事件が起きています。そんなもの一発ひっばり終わるんですが。(笑)…体罰を奪われた教師はピストルをもたないお巡りさんと同じですよ」《「教育再生」12年4月号》
- 「猪瀬氏の『上からの目線』の性格が、どうにも支持の足を引っ張っているのだ。石原さんですら『猪瀬は人間性に問題があるからなあ……』と周囲にもらしていたほどですからね(石原氏周辺)」
《週刊朝日12月7日付》

新婦人 メガホンでOK! 宇都宮コール

- ★東京都知事は宇都宮! **OKOKけんじにまかせろ!**
ひとにやさしい東京を! **そうだそうだ宇都宮!**
原発ゼロは宇都宮 **OKOKけんじにまかせろ!**
人にやさしい東京を! **そうだそうだ宇都宮!**
反貧困は宇都宮! **OKOKけんじにまかせろ!**
こどもは未来の宝じゃないか! **そうだそうだ宇都宮!**
のびのび、キラキラ学校に! **OKOKけんじにまかせろ!**
都立小児を復活するよ! **そうだそうだ宇都宮!**

(後半の下線部はみんなでコール、東京なのに宇都宮!弁護士なのにけんじも時々入れるとリズムが良い。)
*新婦人資料より抜粋



福祉保育労の秋葉原宣伝

4つの柱	「希望都市東京」の政策
東京から脱原発をすすめます	<h3>脱原発、再生可能エネルギーを東京からすすめます</h3> <p>東電の大株主東京都として、経営方針を脱原発に転換させます 再生可能エネルギーの大幅導入、市民参加の節電計画 福島原発事故被害者の支援強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放射能汚染対策の徹底を 子どもたちの未来のために、放射能汚染に対応し、「食の安全」のための規制を強化します
	<h3>生活保障の充実で安心をつくり、個人消費と内需を拡大して、東京の地域経済を活性化させます</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○消費税増税反対 ○すべての都民に必要な医療を 国民健康保険料の値下げ、国保からもれる人ゼロをめざす 都立病院を再建、地域医療の充実、高校生までの医療費ゼロへ ○安心して子育てできる東京へ 認可保育所を増設、保育待機児童ゼロ、学童保育の充実 「子どもの貧困」、児童虐待を大幅に減らす ○高齢者がゆったり暮らせるまちに 25時間在宅ケア、都独自の高齢者医療費無料化制度の創設 「高齢者のすまい」と介護・医療の連携 特養ホームの拡充と待機者ゼロへ、介護労働者の労働条件改善を国に要求 ○障がいのある人も、ない人も共に生きる東京へ 障がいのある人の権利を確保するために条例を制定 身近な地域として相談できる場、支援センターをつくる
誰もが人間らしく生きられるまち、東京をつくりたい	<h3>新たな産業(生活保障型・脱原発・防災)を育成し、貧困も過労死もない東京をつくりたい</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○仕事を増やす、仕事を創る 産業構造をくみかえ、都民の雇用の拡大、若者が将来に希望のもてる雇用政策、過労死を生まない雇用・労働政策(ディーセントワーク) 貧困をつくりださない東京をめざすために「脱貧困都民会議」(仮称)の設置 中小企業・自営業者の生活を守る、都の制度融資の拡大
	<h3>大規模開発を抑制し、環境重視・生活重視のまちづくりをすすめます</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○壊れないまち、燃えない住宅—災害に強い都市への転換を 首都直下地震に備え、命を大切に防災・減災対策に転換し、「東京都地震対策条例」を改訂、住宅耐震化の援助拡大 ○大規模開発・再開発の抑制 高層ビルや業務商業地区の分散 道路政策の見直し 環境重視のまちづくり、大気汚染医療費助成を延長、充実 ○住むことは人権 公営住宅の拡充と家賃補助制度の導入
子どもたちのための教育を再建します	<h3>いじめのない、子どもたちが生き生きと学べる学校をつくりたい</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○学校と教育をもっと楽しく すべての子どもたちが平等に学べる学校 障害のある子どもたちの教育を受ける権利を保障 競争の教育に歯止めを 少人数学級の実現 教育現場への統制、押しつけをなくし、教職員が子どもの教育に打ち込める環境づくりを いじめのない学校づくりを 教育行政と教育運営を民主的なものに
	<h3>日本国憲法を尊重し、憲法が生きる東京をめざします</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○“平和の東京”をアジアと世界へ発信 憲法「改正」に反対し、9条を世界に発信 “平和の東京”をつくりたい 米軍基地のない東京を ○女性の力を都政に反映 男女平等推進の先頭に立つ東京を 女性も男性も仕事と子育ての両立をめざす ○東京を「表現の自由都市」に マンガ規制、デモ規制、クラブ規制などのみなおし
憲法の生きる東京をめざします	

《希望都市東京の12政策、「人にやさしい東京をつくる会」の政策集にもとづき革新都政をつくる会で編集しました》